

# 市議会だより くくるめ

第196号

令和2年  
2月1日発行

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会  
久留米市城南町15番地3  
TEL 0942(30)9305  
FAX 0942(30)9720  
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米絣  
(公財)久留米絣技術保存会提供



一斉にスタート  
(12月14日 オリンピックデー  
ラン久留米大会)

## CONTENTS [目次]

令和元年  
12月定例会号

- 令和元年12月定例会 . . . . 2
- 市政に対する一般質問 . . . . 4
- 議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況 . . . . 8
- 平成30年度決算審査 . . . . 10  
平成30年度の決算審査の概要をお知らせします
- 常任委員会の活動状況(10月～11月) . . . . 12
- 議会制度調査特別委員会の設置 . . . . 14



表紙の絣の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「Ice Dance」です。



## ご挨拶



議長  
永田 一伸



副議長  
原口 和人

市民の皆様には、日ごろから市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

今年最初の議会だよりの発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、4月に市議会議員選挙が執行され、36人の新体制の議会がスタートしました。10月には臨時会を開催し、8月の豪雨災害への対応のための補正予算を可決しました。また、12月には議会制度調査特別委員会を設置し、引き続き議会の改革に取り組んでまいります。

今後も、より身近で開かれた議会を目指し、市民の皆様の負託にこたえられるよう努めてまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 令和元年12月定例会

12月4日から18日までの15日間の日程で、令和元年第6回定例会を開催しました。

4日の本会議では、平成30年度決算議案及び関連議案について、決算審査特別委員長から審査結果の報告を受け、決算議案については認定、関連議案については可決しました。(☞8P)

その後、市長から令和元年度久留米市一般会計補正予算、中高年齢労働者福祉センター条例を廃止する条例など25議案の提案説明がありました。

6日から11日までの本会議では、議員が市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長や教育長に一般質問を行いました。(☞4P)

12日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、

13日には経済常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された補正予算議案や条例議案などを審査しました。(☞2P)

16日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取り扱いを協議しました。

18日の本会議では、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決または承認し、追加提出された公平委員会委員の選任などの人事議案2件についても同意しました。(☞3P)

また、議会制度調査特別委員会を設置して、閉会中に調査することを決定し(☞14P)、第6回定例会を閉会しました。

### 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

#### ●第103号議案 久留米市市民センター多目的棟の指定管理者の指定について

【付託先：総務常任委員会】

久留米市市民センター多目的棟について、令和2年4月1日からの5年間、施設の管理運営を行う指定管理者に、(公財)久留米市生きがい健康づくり財団を指定するものです。

今回、指定管理者の公募を行い、同財団とは別の団体から1件応募がありましたが、指定管理料の限度額を大幅に超えていたため審査を進めることがで

きないと判断し、条例に定める指定管理者候補者選定の特例により同財団を選定しています。

委員から「人件費の高騰や人材確保などの課題もあり、限度額を超えての申請が今後も想定されるが、このことについて、どう考えているのか」との質疑があり、市民文化部から「今回の件は、指定管理者制度における課題と認識している。今後の予算措置や同制度の運用については、関係部局と協議しながら検討していきたい」との答弁がありました。

**可決！ ●第119号議案 中高年齢労働者福祉センター  
条例を廃止する条例**  
〔付託先：経済常任委員会〕

中高年齢労働者福祉センター（サンライフ久留米）は老朽化が進んでおり、大規模改修が必要であることや、市中央部地域には貸室機能等を有する類似施設が複数あることなどから、供用を廃止しようとするものです。

委員から「高齢の利用者には健康増進のためにトレーニング施設の利用を続けてもらいたいが、代替施設の整備を今後どのように進めていくか」との質疑があり、商工観光労働部から「施設のレイアウト案を提示し、その案に基づいてとなるが、利用者の方々と意見交換を進める中で、少しでも納得してもらえるような整備に努めていきたい」との答弁がありました。

**可決！ ●第98号議案 令和元年度久留米市一般会計  
補正予算（第5号）**  
〔付託先：教育民生常任委員会〕

サンライフ久留米の閉館に伴い、同施設の利用者が、代替施設としてえーるピア久留米や野中生涯学習センターを利用できるように環境整備を行うものです。

委員から「サンライフ久留米から、えーるピア久留米の貸しロッカー室へトレーニング機器を移設す

るということだが、その場所では狭いのではないかととの質疑があり、生涯学習推進課から「えーるピア久留米の利用者への影響とサンライフ久留米の利用者の使いやすさを両立させる視点で、貸しロッカー室への移設の検討を進めている。高齢で他施設への移動が困難であるなどの意見もあるため、隣接するえーるピア久留米に可能な限りの環境整備を行うものである」との答弁がありました。

**可決！ ●第98号議案 令和元年度久留米市一般会計  
補正予算（第5号）**  
〔付託先：建設常任委員会〕

J R久留米駅前第2街区の中心市街地再整備事業において、対象地区にある店舗が移転する際の仮店舗設置と補償費の執行について、年度内の完了が見込めないため、補助金3億2,705万円の繰越明許費を設定するものです。

委員から「事業が年度内に完了しない理由は何か」との質疑があり、まちなか整備課から「令和元年6月に整備予定施設の見直しがあり、手続にかかる期間が延びたため、年度内の完了は難しいと判断した」との答弁がありました。

※繰越明許費…歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用する経費のこと。

**請願**

憲法によって保障されている住民の権利であり、国・県・市に対して要望を表明することです。

件名	請願者	付託先	審査状況・結果
久留米市に障害者差別禁止の条例を制定することについて	荒巻 孝信 外1人	教育民生常任委員会	継続審査

**同意した人事案件**

市長が選任する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●公平委員会委員  
上津一丁目 平塚 文成

●固定資産評価審査委員会委員  
津福今町 秋吉 樹

**選挙**

地方自治法の規定により、選挙管理委員会委員及び補充員は議会の選挙で選ばれます。なお、敬称は省略しています。

●選挙管理委員会委員  
大橋町 石原 廣士 野中町 村上 慶子  
東合川町 田中 多門 諏訪野町 坂井 政樹

●補充員  
北野町 永松 千枝 宮ノ陣四丁目 梶原 隆行  
北野町 岡部由起男 津福今町 良永優理子



# 市政に対する一般質問

一般質問とは、議員が市長などに対して、提案されている議案とは関係なく、市の事務の状況や今後の方針などの説明を求め、住民の代表として市政をチェックするものだよ。



スマホなどをお持ちの方は、各議員の顔写真の横のQRコードを専用アプリで読み取ると、本会議での質問の録画映像をごらんいただけます。



プラスチックごみ削減に  
向けての取り組みは

公明党議員団 田中 貴子

**問** プラスチックごみによる海洋汚染は、世界的に深刻な問題である。歯磨き粉に含まれるスクラブ剤などのマイクロプラスチックは、排水溝から海へ流出し、人体への影響も懸念される。マイクロプラスチックが大気中に浮遊していたとの報道もあったが、市はプラスチックごみ削減に、どう取り組んでいるか。

**答** プラスチックごみの削減については、まずはプラスチックの使用自体を減らすことが最も重要である。そのため、市民の皆様には、地域や学校での環境学習会などで、簡易包装やマイバッグの利用、詰めかえ商品の購入などの使用を推奨している。また、排出されるプラスチックごみについては、分別リサイクルを進めており、各校区の分別推進員による啓発や排出指導などを継続して行っている。

◎その他の質問…地球温暖化対策の取り組みについてなど



防災士に期待する役割は

公明党議員団 井上 寛

**問** 民間資格である防災士は、防災ボランティアとして活動しており、防災や人命救助に関する知識などを持ち、日ごろから地域防災を担っていただく大切な人材である。地域防災の要としての防災士の役割について、市が期待することは何か伺いたい。

**答** 自然災害の被害を最小限に抑えるには、自助・共助による地域防災の取り組みが有効であり、防災士の役割は非常に重要だと考えている。そのため、防災士には専門的な知識を活用し、リーダーシップを発揮して校区の自主防災活動を牽引していただくことを期待している。

例えば、平常時は防災訓練や自主防災マニュアル策定など、災害発生時は避難所運営などの場で中心的な役割を担っていただきたいと考えている。

◎その他の質問…無電柱化推進に向けた取り組みについてなど

## 中学校卒業までの医療費 無償化の考えは



日本共産党久留米市議団 小林ときこ

**問** 全国トップクラスの子育てしやすいまちを目指す久留米市として、子育て世代が安心して医療機関を受診できるように、中学校卒業までの医療費を無償化すべきだと考えるが、どのくらいの費用が必要になるのか。また、医療費無償化の推進についての考えを伺いたい。

**答** 本市では、子育て世代の経済的負担軽減のため、県の制度に市独自の助成を上乗せし、入院、通院ともに中学生までを医療費助成の対象としている。中学校卒業までの自己負担金をすべて無償化した場合、新たに2億9千万円が必要になると見込んでいる。

子どもへの医療費助成は、居住地域によって支援内容に差が生じることは好ましくないと考えており、全国市長会等を通じて、国の責任において制度化することを引き続き強く要望していきたい。

◎その他の質問…教員の変形労働時間制についてなど

## 他市での教員間いじめ事件 を受けての対応は



緑水会議員団 吉武 憲治

**問** 10月に、神戸市の小学校で同僚の教員間でのいじめ事件が発覚したが、本市で同様の事案の報告はあっているか。

また、事件を受けての市教育委員会の対応と、今後の取り組みについての考えを伺いたい。

**答** 今回、神戸市で発生したような事案は、決してあってはならない重大な問題であると認識している。現在、本市では同様の事案の報告はないが、市教育委員会では、報道後、市立学校へ注意喚起を行い、教職員の悩みごとの把握やハラスメントの防止に努めることなどを指示した。

今後も、学校における教職員の服務規律の保持や倫理意識の向上を図り、職員面談や相談環境の充実など、風通しのよい職場環境づくりの支援に努めていきたいと考えている。

◎その他の質問…河川のしゅんせつについてなど

## 東京2020オリンピック・パラ リンピックの機運醸成は



緑水会議員団 森崎 巨樹

**問** 東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成については、市内のさまざまな場所でケニア共和国とカザフスタン共和国の国旗を見る機会がふえてはいるが、市民へは、まだまだ浸透していないように感じる。これまでの機運醸成事業の実績と、今後の方向性について伺いたい。

**答** 機運醸成については、これまで水の祭典などのさまざまなイベントや街頭でのPRを実施しており、公共施設等に横断幕等も設置してきた。

※  
今後は、オリンピックを招待した体験イベントや、少年健全育成駅伝大会へのケニア出身の陸上選手の参加等を計画している。また、令和2年5月には本市でも聖火リレーが実施予定であるほか、Tシャツなどの応援グッズの販売も強化しており、さらに機運を高めていきたいと考えている。

◎その他の質問…小学校校舎及び設備についてなど

## 3歳児健診の視力検査の 充実は



みらい久留米議員団 秋永 峰子

**問** 子どもの目の機能は6歳までにほぼ完成するため、3歳児健診で異常が見過ごされると、大切な治療の機会を逃すことになる。

市では、3歳児健診での視力検査の重要性について、どのように認識し、取り組んでいるか。

**答** 強い遠視・近視や斜視がある子どもは、6歳までに適切な治療がなされなかった場合、十分な視力が得られないとされており、3歳児健診での視力検査は重要であると認識している。現在の検査は、家庭で行う検査と医師の診察により総合的に判定し、異常があった場合には精密検査を勧め、早期発見・早期治療に努めている。市では、これまでも健診従事者向けの研修会を実施する等、健診の質の向上に取り組んでおり、今後も内容の充実にも努めていきたい。

◎その他の質問…シティプラザの託児サービスについてなど

※オリンピック…オリンピック競技大会における日本代表選手のこと。





### 飲食店の悪質な客引き行為を規制する条例制定を

久留米たすき議員団 早田 耕一郎

**問** 居酒屋などの飲食店による悪質な客引き行為は、県迷惑行為防止条例の規制の対象にはならず、県内の他自治体でも問題となっている。西鉄久留米駅周辺や中心市街地商店街の夜間の治安を良くするため、悪質な客引き行為を規制する市独自の条例制定を検討すべきと考えるが、いかがか。

**答** 新たな規制については、同じ問題を抱える福岡市と北九州市と本市で県と協議を始めており、すでに条例を制定している自治体から、効果や課題等の情報を収集し、さまざまな意見交換を行っている。

今後は、県迷惑行為防止条例の改正や県による新たな条例制定の要望、実情に応じた対策などを協議する予定であり、本市としては、市内の現状をしっかりと伝え協議していきたいと考えている。

◎その他の質問…市の学力状況とその改善のための家庭及びコミュニティへの施策についてなど



### 災害予防のための森林整備は

久留米たすき議員団 堺 太一郎

**問** 森林の荒廃が進むと、雨水が地下にしみ込まず土をそのまま流れ、草木が根を張らずに土砂崩れが起こりやすい状況になる。耳納連山でも、近年、局地的な豪雨により、土砂崩れなどが起こりやすくなっている。

災害予防の観点から、森林の役割は重要であるが、今後の森林整備について、どう考えているのか。

**答** 市では、既存の造林事業や県の事業等を活用し、適切な森林管理を行うことで、災害に強い森林づくりを進めてきた。また、県が実施する治山事業に連携・協力しながら、森林の山地災害防止機能等の維持増進を図っている。今年度からは森林経営管理制度を活用した適切な森林管理を推進するため、森林を詳しく調査しており、条件を満たした場合は森林環境譲与税を活用し順次整備を行っていく。

◎その他の質問…保育士の処遇改善についてなど



### 子どもへのインフルエンザ予防接種費用の助成を

明政会議員団 古賀 としかず

**問** インフルエンザの予防接種は、感染拡大の抑止や重症化を防ぐ上で有効とされており、本市では65歳以上の高齢者に対して予防接種費用の助成を実施している。小児では、中耳炎や熱性けいれん、急性脳症などに至る可能性も高くなるため、子どもへの助成についても検討できないか。

**答** インフルエンザの予防接種は、重症化の予防には一定の効果があり、特に、65歳以上の高齢者については大きな効果が期待される。一方、流行する型は毎年変化しており、ワクチンの免疫の持続は約5カ月であるなど、効果は限定的と考えられている。

子どもへの予防接種費用の助成については、今後、インフルエンザの流行状況や予防接種の有効性、市民からのニーズ等を踏まえ、子どもの対象年齢など助成のあり方を研究していきたい。

◎その他の質問…交通施策についてなど



### コミュニティタクシー制度の見直しを

明政会議員団 石井 秀夫

**問** 高齢者の運転免許自主返納後の日常生活の移動支援にもなるコミュニティタクシー制度は、導入から1年半がたつが、37の対象校区のうち17校区のみの導入であり、公平な支援になっていないと感じる。

タクシー組合等に業務委託し、市が窓口になれば校区の負担もなくなり、移動制約者が公平に支援を受けられると考えるが、いかがか。

**答** コミュニティタクシーは、地域に根差した持続可能な制度にするため、地域が主体的に取り組んでいただく必要があると考えている。そのため、制度の開始時や運営時の校区の負担軽減や、利用者の利便性向上につながるアプリケーションソフトがないかも含めて検討を行い、できるだけ早く未実施校区で制度を活用してもらえよう努めていきたい。

◎その他の質問…文部科学省が推進するコミュニティスクールについてなど

※森林経営管理制度…所有者みずから管理できない森林の経営管理を市町村が受託して公的に管理する新たな森林管理システムのこと。

※アプリケーションソフト…地図など、使用者がスマホやパソコン等で利用したい機能を追加するために、インターネット上にあるサイトなどから自由に選択してダウンロードすることができるソフトウェアのこと。

## 移動式排水ポンプ車の購入を



明政会議員団 吉富 巧

**問** 昨年7月と本年の8月の大雨時、市の要請により九州地方整備局筑後川河川事務所が所有している移動式排水ポンプ車が陣屋川に1台配置され、大変有効であった。県でも1台購入予定とのことだが、いち早く減災に取り組むため、市でも購入できないか。

**答** 市で購入する場合は、排水ポンプ車の業務運行体制、必要な経費、運用面に関するルールづくり等を慎重に検討する必要がある。現状では、国と県が持つ移動式排水ポンプ車を機動的に配備できる体制を構築することが重要と考えており、緊急の際は速やかに派遣してもらえよう、緊密に連携していきたい。また、減災には排水が必要となる河川への排水機場の新設及び増設が基本と考えており、国や県と協議を続けたい。

◎その他の質問…学力向上における地域との連携についてなど

## 歴史的資源の広報・啓発の充実を



明政会議員団 山田 貴生

**問** 市内の歴史的資源については、印刷物やホームページなどで広報・啓発している。しかし、歴史的資源の近辺に住んでいる方や子どもたちが、本市の歴史に興味をもち学べるような取り組みは、十分ではないと考える。広報や啓発をさらに充実させるべきだと考えるが、いかがか。

**答** 文化財や歴史的資源の保存と活用を図るためには、広く市民の理解や協力が不可欠であり、そのためにはわかりやすい広報や啓発が重要であると考えている。

現在、文化財マップの作成や歴史ルートづくり事業などの広報・啓発活動に取り組んでいる。

今後も、市民に興味を持ってもらえるよう、歴史遺産をストーリーによって関連付け、さまざまな媒体による広報、参加型のイベント・講座等を企画し、広報・啓発をさらに充実するよう努力していきたい。

◎その他の質問…河川の管理・整備についてなど

## 小学校給食での食べ残しを減らす取り組みは



明政会議員団 田住 和也

**問** 児童一人ひとりが食の大切さやありがたさを感じ、感謝することは大切なことであるが、それが十分に伝わっていない結果として、給食の食べ残しが発生している。小学校給食の残食の状況と課題、今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 30年度の残食率は、パン2.6%、米飯2.3%、副食2.5%であった。残食になりやすい食材としては、野菜、魚、豆、海藻、きのこと類などがある。また、噛み応えのある献立が残食となる傾向がある。

残食を減らす取り組みとして、給食時間に栄養教諭等が、栄養素や健康に良い食事のとり方を指導している。また、地元生産者との交流を通じて感謝の心を養う取り組みを進めている。今後は、献立や調理方法を工夫し、食事の重要性や楽しみなど食育についても教えていくことが必要と考えている。

◎その他の質問…市有地の利活用についてなど

## 質問力向上を目指し研修会を開催

令和元年12月23日、龍谷大学政策学部の土山希美枝教授をお招きし、「一般質問の質問力を高めるために」と題し、議員研修会を開催しました。

研修では、政策提案機能をもった質問とするための方策や、よい一般質問をすることで議会の魅力向上につながるなどについて理解を深めました。



講演する土山希美枝教授

# 議案の議決結果と会派ごとの賛否の状況

議案名	会派名						議決結果	
	※1 明政会 (12)	たすき (8)	公明党 (6)	緑水会 (5)	みらい (2)	共産党 (2)		
◎令和元年12月4日議決分								
認定第1号	平成30年度久留米市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	認定
認定第2号	平成30年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	
認定第3号	平成30年度久留米市競輪事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	平成30年度久留米市卸売市場事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	平成30年度久留米市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	
認定第6号	平成30年度久留米市市営駐車場事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	平成30年度久留米市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	
認定第8号	平成30年度久留米市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	
認定第9号	平成30年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	
認定第10号	平成30年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	
認定第11号	平成30年度久留米市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	
認定第12号	平成30年度久留米市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	
認定第13号	平成30年度久留米市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	
第89号	平成30年度久留米市水道事業剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	可決
第90号	平成30年度久留米市下水道事業剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	
◎令和元年12月18日議決分								
第95号	交通事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	承認
第96号	市職員の過失に起因する負傷事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	
第97号	交通事故による損害賠償の専決処分について	○	○	○	○	○	○	
第98号	令和元年度久留米市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	可決
第99号	令和元年度久留米市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	
第100号	令和元年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	
第101号	令和元年度久留米市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	
第102号	田主丸地域情報通信基盤設備破損事故による和解契約締結について	○	○	○	○	○	○	
第103号	久留米市市民センター多目的棟の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	
第104号	久留米市身体障害者福祉センター等の指定管理者の指定について	※2	○	○	※3	○	○	
第105号	久留米市田主丸老人福祉センターの指定管理者の指定について	※2	○	○	※3	○	○	
第106号	久留米市三潞総合福祉センターの指定管理者の指定について	※2	○	○	※3	○	○	
第107号	久留米市城島保健福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	
第108号	久留米市北野複合施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	
第109号	青木繁旧居の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	
第110号	久留米市生涯学習センター等の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	
第111号	久留米市野中生涯学習センターの指定管理者の指定について	※2	※4	○	○	○	○	
第112号	久留米市体育施設（三潞・城島地域）の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	



議案名	会派名	明政会	たすき	公明党	緑水会	みらい	共産党	議決結果
		(12)	(8)	(6)	(5)	(2)	(2)	
第113号 山川小学校校舎増築工事請負契約締結について		○	○	○	○	○	○	可決
第114号 訴えの提起について		○	○	○	○	○	○	
第115号 市道路線の廃止について		○	○	○	○	○	○	
第116号 市道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	
第117号 長門石橋取付高架橋耐震補強（3期）工事請負契約締結について		○	○	○	○	○	○	
第118号 久留米市職員給与条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	
第119号 中高年齢労働者福祉センター条例を廃止する条例		○	○	○	※5	○	×	同意
第120号 久留米市公平委員会委員の選任について		○	○	○	○	○	○	
第121号 久留米市固定資産評価審査委員会委員の選任について		○	○	○	○	○	○	

会派名の（ ）内の数字は所属議員数です。ただし、明政会は議長を除きます。議長は表決に加わりません。

賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名：明政会（明政会議員団）、たすき（久留米たすき議員団）、公明党（公明党議員団）、緑水会（緑水会議員団）、みらい（みらい久留米議員団）、共産党（日本共産党久留米市議員団）

※1 令和元年12月4日は欠席者が1人いたため、表決に参加したのは11人となります。

※2 明政会議員団は、賛成11人、除斥（利害関係のある議案の審議には参加できないこと）1人。

※3 緑水会議員団は、賛成4人、除斥1人。

※4 久留米たすき議員団は、賛成7人、除斥1人。

※5 緑水会議員団は、賛成1人、反対4人。

議員個人の賛否の状況は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会 議案と結果

検索  クリック

## 行政視察報告

委員会が行政視察を行いました。詳しい内容は市議会ホームページをごらんください。

委員会名	期間	視察先	視察の主な項目
総務 常任委員会	10月15日 ～17日	弘前市	市民参加型まちづくり1%システム支援事業について
		八戸市	防災対策の取り組みについて
教育民生 常任委員会	10月9日 ～11日	岩見沢市	子どもがかがやく学校活動支援事業について
		旭川市	子ども総合相談センターについて
経済 常任委員会	11月5日 ～7日	十和田市	十和田市中心市街地活性化基本計画について
		一関市	食と農の景勝地「もち食文化」（インバウンド需要を呼び込むための観光政策）の取り組みについて
建設 常任委員会	10月8日 ～10日	川崎市	エコ暮らし未来館について エネルギー循環型ごみ収集システムについて
		鶴岡市	空き家対策におけるNPO法人つるおかランド・バンクとの協働の取り組みについて

## 議会がチェック お金の使い方を厳しく審査

9月20日に決算審査特別委員会が設置され、9月25日から10月3日までの間、市長から提出された平成30年度一般会計決算など付託された議案について、予算の執行状況や、事業の取り組み状況を審査しました。

平成30年度の一般会計及び特別会計歳入総額は、2,094億229万円、歳出総額は2,060億8,252万円で黒字決算となりました。

また、水道事業会計は、総収益46億1,504万円に対し、総費用40億1,103万円で、純利益6億401万円の黒字決算になりました。下水道事業会計は、総収益65億6,613万円に対し、総費用62億8,689

万円で、純利益2億7,924万円の黒字決算になりました。

市議会では、定住促進や企業誘致などによる税源を確保する取り組みや効率的・効果的な施策の推進など、さらなる事業の厳選と重点化を進め、行財政改革の取り組みを徹底することにより、健全財政を維持するよう、市に強く求めました。

### 主な質疑

総務費

**Q** 高齢運転者の免許自主返納支援事業が30年度に廃止された際に、代替策を要望していたが、どのように取り組んだのか。

**A** 高齢者の交通事故防止の対策については、自身の運転能力の変化を自覚してもらう実技体験型の交通安全講習を充実させた。また、本人だけでなく家族へもアプローチするなど、さまざまな場面での啓発に力を入れている。

衛生費

**Q** 野良猫の殺処分を減らすために、不妊去勢手術の費用助成の上限頭数をふやしてはどうか。

**A** 野良猫の不妊去勢手術の費用助成の申し込みのペースが早く、今年度もすでに150頭の



動物管理センターで保護された猫

上限に達する勢いである。そのため、今後、上限頭数をふやす方向で検討を進めている。

民生費

**Q** 災害時に避難指示などが出た場合は、命を守る行動が必要だと考える。保育所も、小・中学校と同様に休所すべきではないか。

**A** 児童福祉法の規定により、市には保育の実施責任があり、災害時も保護者の就労等を確保する必要があるため、保育所は原則開所としている。しかし、近年の災害を受け、29年度には保育事業者と協議の上、避難指示の発令時などは休所等の措置ができることとした。今後、子どもの安全確保を考え、防災・減災の観点から現行基準の見直しを検討したい。

労働費

**Q** 就職氷河期世代に対する就職支援について、どのように考えているのか。

**A** 就職氷河期世代については、正規雇用を3年間で30万人ふやすという国の方針が出ている。本市としては、<sup>\*</sup>筑後若者サポートステーションなど国・県の機関と連携し、就職支援に取り組んでいきたい。

<sup>\*</sup>筑後若者サポートステーション…学校を卒業・中退後、あるいは仕事を辞めた後、職業に就けずに悩んでいる若者（15～39歳）を対象に、職業的自立など将来に向けた取り組みを行っている自立・就労支援窓口のこと。



**Q** 農業体験事業「くる農」や農家民泊「久留米に泊まん農」の取り組み状況と今後について伺いたい。

**A** 農業体験事業や農家民泊は農業経営の多角化に向けた取り組みとして実施している。30年度の農業体験は、12農家が実施し、406人が参加した。一方、農家民泊は30年度の実績はなかったが、今年度は13人を受け入れている。今後も、事業を拡充していきたいと考えている。



農業体験事業「くる農」で脱穀作業を体験

**Q** 消防団と広域消防本部は、どのように連携しているのか。また、大雨等による水害時の市民の救助のため、ボートが未配備の消防団への配備を考えられないか。

**A** 火災や大雨被害を想定した訓練を連携して実施している。また、筑後川に近い地域にはボートを配備しているが、近年の大雨の被害状況等を踏まえながら、必要に応じて検討を行っていく。



平成30年7月豪雨時の消防団によるボートでの救助活動

**Q** 外国人旅行者誘致のためのバス助成の成果を伺いたい。また、バスだけでなく、レンタカーへの助成は考えられないか。

**A** 外国人15人以上の団体が日帰りで本市に貸し切りバスで来る場合、（公財）久留米観光コンベンション国際交流協会から、バス1台につき1万円の助成を行うなどしている。30年度は180台分の助成をし、5,294人の観光客が訪れた。

レンタカーへの助成は、バス助成の効果を見定めた上で、今後研究していきたい。

**Q** JR久大本線の（仮称）浮羽研究館高校前駅の設置については、以前から要望されてきた。公共交通の広域的な利便性向上は行政の役割であると思うが、検討状況について伺いたい。

**A** 新駅設置については、しっかりと議論していく必要がある。また、代替案も含め、田主丸、うきは周辺地域の交通機関の利便性向上について今後も検討していきたい。

**Q** 子どもの体力向上のためには、小学校の遊具は必要不可欠と考える。老朽化した遊具を撤去し、不足している状況もあると聞かすが、遊具の設置についてどう考えているか。

**A** 子どもの健全な発達には、遊具は必要であると考えており、日常的な点検に加え、年数が経過したものについては、修理や撤去を行っている。今後、学校と協議した上で、必要な分については設置していきたい。



老朽化したロープネットを取りかえた遊具

# 常任委員会の活動状況（10月～11月）

## 総務常任委員会

▶10月21日

▷久留米市の財政状況について

今後、財政環境が厳しさを増すことが見込まれる中、本市の財政状況や今後の見通しなどについて、財政課から説明を受けました。

**Q** 予算編成前に予算編成方針を示し、また、編成過程の情報も公開するなど、財政状況について市民や事業者などとも認識の共有化を図る必要があると思うが、本市の考えを伺いたい。

**A** 予算編成の際、市民にもわかりやすくするため、予算を事業別に記載した説明書や、予算のポイントなども作成し公開している。予算編成過程の公開については、さまざまな視点からの意見をいただけるメリットがあるため、他自治体や関係団体等の状況を踏まえ、検討を進めていきたい。

▶11月15日

▷広聴・相談事業について

市民意識調査などの広聴事業や市政相談などの相談事業の取り組みについて、広聴・相談課から説明を受けました。

**Q** 認知症の方や外国語を母語にする方など、ニーズを把握することが難しい方々の意見を聞いて、施策を実施することが必要と考えるが、複雑多様化する市民ニーズの集約に、どう取り組んでいくのか。

**A** 市民の意見をしっかりと聞くことが、市政の基本だと考える。各部局が行っているアンケートの状況を集約して全部局に共有することや、効果的なアンケート等について、関係部局と連携して検討していく必要があると考えている。

## 教育民生常任委員会

▶10月28日

▷次期くるめ子どもの笑顔プランの策定について

子ども・子育て支援法の規定に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画として策定するものです。現在の計画の検証と次期計画の基本目標等について、子ども政策課から説明を受けました。

**Q** 仕事と子育ての両立の促進を図るために、男性の育児参加への取り組みをもっと強化してほしいと思うが、どのように考えているのか。

**A** 男性の育児参加への取り組みについては、子育て支援や男女平等に関する事業として、プレパパママ教室や男性の家事参加講座の開催、ワーク・ライフ・バランスに取り組む市内の事業所への支援などを行っている。今後も各部局と連携し、十分に協議を重ねながら進めていきたい。

▶11月22日

▷次期久留米市文化芸術振興基本計画の策定について

今後の文化芸術振興の基本的な方向性を示し、文化芸術施策を推進するための指針として策定するもので、文化振興課から説明を受けました。

**Q** 小学校やコミュニティセンター等に人材を派遣して、市民が文化芸術を体験できるアウトリーチ事業の今後の展開を伺いたい。

**A** 現在は、小学校を中心に芸術家等の派遣事業を行っている。今後も、鑑賞だけではなく、参加体験型の活動を通して、文化芸術活動を推進していきたい。



茶道を体験する子どもたち



## 経済常任委員会

▶10月28日

▷農業の担い手育成について

本市の農業を持続的に発展させるため、農業従事者に対する支援の状況や、担い手の確保に向けた取り組みなどについて、生産流通課から説明を受けました。

**Q** 国の農業次世代人材投資資金による支援を受けた新規就農者に対する、経営確立に向けた市の支援について伺いたい。

**A** 5年間の支援事業による一定の成果が出ている中、新規就農者間の所得に大きな差が出ており、農地の状況、生産する品目によっても異なるが、技術力の差が原因だと認識している。技術力の向上が課題である支援対象者には、ほかの新規就農者や先輩農家との交流の場を設けたり、視察研修を実施したりするなどの支援を行っている。

▶11月21日

▷競輪事業について

来場者数が減少したことで施設規模が過大化し、老朽化が進んでいる久留米競輪場について、現地調査を行いました。

現地では、老朽化した車券発売所や観覧席のほか、耐震基準を満たしていないメインスタンドなどを調査し、競輪事業課から、施設規模のコンパクト化や来場者の利便性向上など、施設の改修に向けた検討課題について説明を受けました。



メインスタンドを調査

## 建設常任委員会

▶10月17日

▷ごみの中間処理と再資源化について

ごみの再資源化の実施状況や、ごみ処理施設を安定的に運営するための取り組みについて、施設課から説明を受けました。

**Q** リサイクル率は22.4%と、ここ数年横ばいであるが、今後どのようにして高めていくのか。

**A** リサイクル率向上のためには、ごみの総量を減らすことと、ごみ分別を徹底して、可能な限り資源化していくことが重要である。リサイクル率の高い自治体の取り組みも参考にしながら、令和7年度にリサイクル率24%以上という目標達成に向け、今後も努力を続けていきたい。

▶11月18日

▷空き家活用施策について

周辺に悪影響を及ぼす老朽空き家の発生を防ぐための取り組みなどについて、住宅政策課から説明を受けました。

**Q** 空き家の所有者が遠方に住んでいる場合の対応や、空き家になる前の予防策はどのように行っているのか。

**A** 遠方の所有者に対しては、空き家相談会や、シルバー人材センターによる空き家・空き地の見回り管理サービス等を紹介している。また、空き家支援に関するチラシを固定資産税納税通知書に同封し、所有者へ情報提供するなど予防策を講じている。



老朽空き家

## 議会基本条例の検証を行いました

議会運営委員会では、議会の活動原則や市民と議会の関係などを定めた議会基本条例について検証を行い、議論の結果を取りまとめました。

定義に関する条文を除く19の条文について、議会のこれまでの取り組みを踏まえ、条文ごとに「達成」、「一部達成」、「未達成」の3段階で評価しました。

その中で、「議員の政治倫理」や「議員定数」

は「達成」と評価した一方、「市民参加及び市民との連携」、「議員間討議」、「議会広報の充実」は「一部達成」という評価となり、全体としては達成「4」、一部達成「15」という検証結果となりました。

なお、取りまとめた結果の詳細はホームページで公開しています。

## 特別委員会が設置されました

特別委員会とは、特定の事件を審査するために設置された委員会のことで、議会の議決を経て設置されます。

## 議会制度調査特別委員会

議会機能の強化、議会の活性化を目的として、本市の議会制度全般について調査・検討を行う

委員長 田中 功一（公明党議員団）  
副委員長 松岡 保治（久留米たすき議員団）  
委員 山田 貴生（明政会議員団）  
委員 田住 和也（明政会議員団）  
委員 石井 秀夫（明政会議員団）  
委員 早田耕一郎（久留米たすき議員団）

委員 森崎 巨樹（緑水会議員団）  
委員 山下 尚（公明党議員団）  
委員 吉富 巧（明政会議員団）  
委員 石井 俊一（久留米たすき議員団）  
委員 佐藤 晶二（緑水会議員団）

## 次回の定例会（予定）のお知らせ

今回は、2月27日（木）から3月26日（木）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。

なお、日程は予定ですので、都合により変更されることがあります。

2月27日（木）…議案の提案説明など  
3月2日（月）～6日（金）…一般質問など  
9日（月）～18日（水）…予算審査特別委員会  
19日（木）…常任委員会（教育民生・建設）  
23日（月）…常任委員会（経済・総務）  
26日（木）…審議採決など

本会議は自由に傍聴できます。市庁舎20階東側の「傍聴席入口」からお入りください。

※本会議はインターネットで生中継しており、スマホやタブレット端末でも見ることができます。



久留米市議会HPの  
議会中継のQRコード

## 市議会だよりリニューアルを検討中

議会広報委員会では、定例会ごとに発行している「市議会だよりくろめ」の大幅なリニューアルを検討しています。平成26年8月1日号（第172号）以来の紙面刷新です。

市民の皆さんに、市議会をより身近なものと感じてもらえるように、見やすく、わかりやすく、親しみやすい議会広報紙を目指しています。

## ◆ 編集後記 ◆

令和2年が始まりました。風邪などひかず過ごしていらっしゃいますか。

議会広報委員会では、若い世代からシニアまでの多くの市民の皆さんに読んでいただけるような紙面づくりを目指し、「市議会だよりくろめ」のリニューアルに向けた議論を重ねています。

どうぞご期待ください。

議会広報委員会

「市議会だよりくろめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。